

第50回日本SF大会  
**DONBURA  
CON**  
ドンブラコンエル

# PROGRESS REPORT ③

静岡在住ゲストコメント  
**辻 真先**

2011 年星雲賞  
参考候補作リスト

静岡 SF 大全第3回：宇宙細胞  
コンパック 2011  
会場下見合宿レポート  
参加申し込み

宿泊のお知らせ

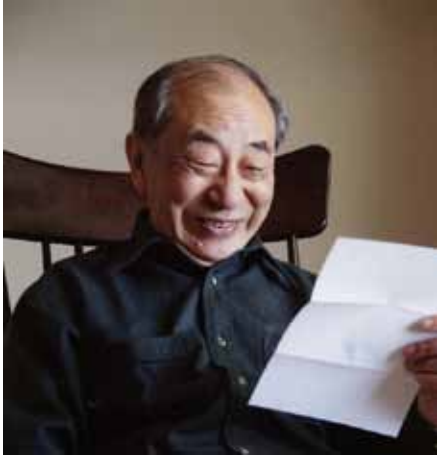
自主企画からのお知らせ

開催：2011.9. 3~4 グランシップ (静岡)

イラスト：すがやみつる

# 静岡在住 ゲストコメント

## 辻 真先



### 静岡発すこしふしぎなイベント

題名について注釈。SFを『す(S)こしふ(F)しぎな』と翻訳して、大量で良質なSFマンガを書いたのは、今は亡き藤子・F・不二雄さんであった。その一編『おれ、夕子』のアニメ化をお手伝いしたご縁でパクらせていただく。もうひとつのご縁としては、ぼくの仕事部屋が熱海にあることだ。丹那トンネルの東側のせいか、神奈川県とカン違いする人がいるが、アタミはれっきとした静岡県の町である。なんと、その県内でSF大会が開催されるんだ！

残念ながらぼくは第一回のSF大会通称メグコンには間に合わなかったが、比較的早い時期からなんだか参加させてもらっている。オタクなんて言葉もないころ、集まるのはその時代なりにとんがった人が多かったし、まだ世間さまはSFとはUFOをご神体と崇める新興宗教ぐらいに思っていたようだが、世は移り人変わり、ようやくSFが新鮮で奥行き深いエンタテインメントだと認知されるようになった。

もっぱらアニメサイドから、SFの発展と変化を見守っていた人間として、なにかしかの感懐がある。東京や大阪ではない、札幌でも福岡でもない、いささか宙ぶらりんな場所にある静岡が舞台のイベントという点に、ひとつの意義があると思うのだ。

SFにろくな市民権がなかったころ、ファンは情報が偏在する大都会にしか生息できなかった。だがその後、SFというメディア自体が発展したし、インターネットによる情報が浸透して、人口密度とかかわりなくSFに関する知識を共有できる時代になった(考えてみれば、これもひとつのSF現象だ)。

日本地図をひろげてみれば、静岡はまことに温暖

で中庸を得たロケーションだ。いわば日本の縁側として、悠然と日向ぼっこを楽しめる場所だ。台風銀座とも縁遠いし、除雪費用が自治体の予算をおびやかす土地柄でもない。だからなのか、静岡の住人はとかくおっとりのんびりして見えるそうだ。それでいて新幹線の駅は県内に6つもある。交通至便とっていい。おかげさまで(ぼくの仕事部屋がある熱海を代表格として)、人間も情報もついつい通りすぎてしまう嫌いがあった。なにか実りを求めようとすると、静岡あたりから東は東京へ、浜松近在から西は名古屋へ、顔を向けてしまう。交通至便があだをして、ようよう蓄積した地元固有の情報すらストロー効果で東西に奪われてしまう。

いまや双方向メディアの時世である。受信に汲々とするより、まず発信に注力しようではないか。攻勢に出てこそはじめて効果を生むのは、交通至便という特性だ。構うことはない、東海道新幹線ト真ん中の静岡だもの、どしどし全国からSFファンを大糾合すればいい。

自分が汗を流しもせず勝手な熱を吹くといわれそうだが、細かいことは気にするな。お役にたつようなら、同県人のよしみでぼくも駆けつけます。

つい先日、SFファンの父というべき故・柴野拓美さんを偲ぶ会に出たのだが、若者の集まりが大好きだったあの人のことだ、もしみなさんの中に霊視者がおいでなら、いつもの温顔をほころばせてニコニコと東静岡の会場を眺め回す柴野さんの姿を、きつとみつけるに違いない。

ああ、そうだった。今年のドンブラコンは柴野さんがリーダーシップをとったメグコンから数えて、50回という節目にあたる年なのだ。そう、柴野さんも星新一さんも、必ず駆けつけてくれるだろう。あなたたちが育てたSFファンがこんなにも数を増し、のびのびとイマジネーションの翼を広げている。その姿をどうか見届けてやってください！

辻 真先 プロフィール

1932年名古屋生まれ。NHKテレビ勤務の後アニメ脚本・ミステリ作家に転ずる。本格ミステリ作家クラブ会長、デジタルハリウッド大学教授。



# 2011 年星雲賞 参考候補作リスト

星雲賞とは、SFファンが選ぶSF小説とその周辺ジャンルを対象にした賞で、日本では最も長い歴史を誇ります。前年度1年間に発表された作品の中からSF大会参加者による投票が行われ、最も得票数の多い作品が星雲賞に輝きます。

ドンブラコンLに参加登録をされた方には、第42回星雲賞の投票権が与えられます。

投票には、このプログレスレポートに同封の投票用紙を使用するか、下記のURLにある投票フォームをご利用下さい。

<http://sf-fan.gr.jp/vote2011/>

ミラーサイト：<http://sf50.sakura.ne.jp/vote2011/>

## ■投票作品の選びかた

星雲賞は、全部で9部門に分かれています。それぞれの部門であなたが星雲賞にふさわしいと思う作品に投票してください。

投票の参考にするため、「参考候補作」がリストアップされています。あなたがリストの中にある作品を選ぶ場合は作品につけられた記号（アルファベット）を記入してください。リストにない作品に投票したい場合には、「その他」に印をつけ、作品名を記入してください。その際、作者や制作者、出版社などの情報も、わかる範囲で記入してください。

残念ながら昨年1年間に発表された作品には評価に値するものがなかったと判断される場合には、「棄権」を選ぶこともできます。また、自分の興味ある部門にのみ投票を行うこともできます。

## ■投票締切

投票の締切は郵送では**5月31日（火）必着**、Web投票では**同日23時59分59秒送信**となります。大切な一票をむだにしないよう、締切にはくれぐれもご注意ください。

## 日本長編部門

記号	作品名	著者	出版社
	書籍	出版日	ISBN-13
	URL		
a	『華竜の宮』	上田早夕里	早川書房
	ハヤカワSFシリーズJコレクション 2010/10 978-4152091635		
	<a href="http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/124653.html">http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/124653.html</a>		
b	『去年はいい年になるだろう』	山本弘	PHP研究所
	単行本 2010/4 978-4569776637		
	<a href="http://www.php.co.jp/books/detail.php?isbn=978-4-569-77663-7">http://www.php.co.jp/books/detail.php?isbn=978-4-569-77663-7</a>		
c	『どろんごろんど』	北野勇作	福音館書店
	単行本 2010/8 978-4834025774		
	<a href="http://www.fukuinkan.co.jp/bookdetail.php?goods_id=21531">http://www.fukuinkan.co.jp/bookdetail.php?goods_id=21531</a>		
d	『不動カリンは一切動ぜず』	森田季節	早川書房
	ハヤカワ文庫JA 2010/9 978-4150310103		
	<a href="http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/21010.html">http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/21010.html</a>		
e	『エンドレス・ガーデン ロジカル・ミステリー・ツアーへ君と』	片理誠	早川書房
	978-4152091581		
	ハヤカワSFシリーズJコレクション 2010/9		
	<a href="http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/124652.html">http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/124652.html</a>		
f	『ペンギン・ハイウェイ』	森見登美彦	角川書店
	単行本 2010/5 978-4048740630C0093		
	<a href="http://www.kadokawa.co.jp/book/bk_detail.php?pcd=200810000311">http://www.kadokawa.co.jp/book/bk_detail.php?pcd=200810000311</a>		
g	『スワロウテイル人工少女販売処』	籾真 千歳	早川書房
	ハヤカワ文庫JA 2010/6 978-4150310011		
	<a href="http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/21001.html">http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/21001.html</a>		
y	棄権		
z	その他		

## 日本短編部門

記号	作品名	著者	出版社
	掲載誌	出版日	
	URL		
a	『allo,toi,toi』	長谷敏司	早川書房
	「SFマガジン4月号」掲載 2010/2		
	<a href="http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721004.html">http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721004.html</a>		
b	『アリスマ王の愛した魔物』	小川一水	早川書房
	「SFマガジン2月号」掲載 2009/12		
	<a href="http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721002.html">http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721002.html</a>		
c	『五色の舟』	津原泰水	河出書房新社
	『NOVA2』(河出文庫)収録 2010/7		
	<a href="http://www.kawade.co.jp/np/isbn/9784309410272">http://www.kawade.co.jp/np/isbn/9784309410272</a> 978-4309410272		
d	『囚人の両刀論法』	小林泰三	早川書房
	「SFマガジン2月号」掲載 2009/12		
	<a href="http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721002.html">http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721002.html</a>		
e	『テルミン嬢』	津原泰水	早川書房
	「SFマガジン4月号」掲載 2010/2		
	<a href="http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721004.html">http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721004.html</a>		
f	『マグネフィオ』	上田早夕里	早川書房
	「SFマガジン2月号」掲載 2009/12		
	<a href="http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721002.html">http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721002.html</a>		
g	『あがり』	松崎有理	東京創元社
	『年刊日本SF傑作選量子回廊』(創元SF文庫)収録 2010/7		
	<a href="http://www.tsogen.co.jp/np/isbn/9784488734039">http://www.tsogen.co.jp/np/isbn/9784488734039</a> 978-4488734039		
y	棄権		
z	その他		

## 海外長編部門

- 記号 作品名 著者 翻訳者 出版社  
書籍 出版日 ISBN-13  
URL
- a 『**異星人の郷**』 マイケル・フリン 嶋田洋一 東京創元社  
創元 SF 文庫 上下巻 2010/10 978-4488699017  
[http://www.tsogen.co.jp/np/  
isbn/9784488699017](http://www.tsogen.co.jp/np/isbn/9784488699017)
- b 『**WORLD WAR Z**』 マックス・ブルックス 浜野アキオ 文藝春秋  
単行本 2010/4 978-4163291406  
[http://www.bunshun.co.jp/cgi-bin/book\\_db/  
book\\_detail.cgi?isbn=9784163291406](http://www.bunshun.co.jp/cgi-bin/book_db/book_detail.cgi?isbn=9784163291406)
- c 『**ファージング三部作**』(『**英雄たちの朝**』『**暗殺のハムレット**』『**バックinghamの光芒**』)  
ジョー・ウォルトン 茂木健 東京創元社  
創元推理文庫 2010/8 978-4488279059  
[http://www.tsogen.co.jp/np/  
isbn/9784488279059](http://www.tsogen.co.jp/np/isbn/9784488279059)
- d 『**時の地図**』 フェリクス・J・パルマ 宮崎真紀 早川書房  
ハヤカワ文庫NV 上下巻 2010/10 978-4150412272  
[http://www.hayakawa-online.co.jp/product/  
books/31227.html](http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/31227.html)
- e 『**ハンターズ・ラン**』 ジョージ・R・R・マーティン/  
ガードナー・ドゾフ/ダニエル・エイブラム 酒井昭伸 早川書房  
単行本 2010/6 978-4150117610  
[http://www.hayakawa-online.co.jp/product/  
books/11761.html](http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/11761.html)
- f 『**アンランダン**』 チャイナ・ミエヴィル 内田昌之  
単行本 上下巻 河出書房新社 2010/8 978-4309205472  
[http://www.kawade.co.jp/np/  
isbn/9784309205472](http://www.kawade.co.jp/np/isbn/9784309205472)
- g 『**創世の島**』 バーナード・ベケット 小野田和子  
単行本 早川書房 2010/6 978-4152091352  
[http://www.hayakawa-online.co.jp/product/  
books/113534.html](http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/113534.html)
- y 棄権  
z その他

## 海外短編部門

- 記号 作品名 著者 翻訳者 出版社  
掲載誌 出版日  
URL
- a 『**息吹**』 テッド・チャン 大森望 早川書房  
「SFマガジン1月号」掲載  
[http://www.hayakawa-online.co.jp/product/  
books/721001.html](http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721001.html)
- b 『**光線銃——ある愛の物語**』  
ジェイムズ・アラン・ガードナー 金子浩 早川書房  
「SFマガジン3月号」掲載  
[http://www.hayakawa-online.co.jp/product/  
books/721003.html](http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721003.html)
- c 『**クリスタルの夜**』 グレック・イーガン  
山岸真 早川書房  
「SFマガジン1月号」掲載  
[http://www.hayakawa-online.co.jp/product/  
books/721001.html](http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721001.html)
- d 『**第六ポンプ**』 パオロ・パチガルビ 中原尚哉 早川書房  
「SFマガジン1月号」掲載

- [http://www.hayakawa-online.co.jp/product/  
books/721001.html](http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721001.html)
- e 『**マン・イン・ザ・ミラー**』  
ジェフリー・A・ランディス 小野田和子 早川書房  
「SFマガジン3月号」掲載  
[http://www.hayakawa-online.co.jp/product/  
books/721003.html](http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/721003.html)
- f 『**月をぼくのポケットに**』  
ジェイムズ・ラヴグローヴ 中村融 早川書房  
『宇宙開発SF傑作選 ワイオミング生まれの宇宙飛行士』  
(ハヤカワ文庫 SF) 収録 2010/7  
[http://www.hayakawa-online.co.jp/product/  
books/11769.html](http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/11769.html) 978-4150117696
- g 『**彼らの生涯の最愛の時**』 イアン・ワトスン&  
ロベルト・クアリア 大森望 早川書房  
『時間SF傑作選 ここがウィネットカナラ、きみはジュディ』  
(ハヤカワ文庫 SF) 収録 2010/9  
[http://www.hayakawa-online.co.jp/product/  
books/11776.html](http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/11776.html) 978-4150117764
- y 棄権  
z その他

## メディア部門

- 記号 作品名 製作者  
制作 製作会社 発表月日  
URL
- a 『**第9地区**』 監督：ニール・ブロムカンプ  
製作総指揮：ケン・カミンズ、ビル・ブロック  
製作：ピーター・ジャクソン、キャロリン・カニンガム  
日本公開 2010/4/10  
<http://d-9.gaga.ne.jp/>
- b 『**四畳半神話大系**』 原作：森見登美彦、監督：湯浅政明  
マッドハウス 四畳半主義者の会 2010/4/22-2010/7/1  
<http://yojouhan.noitamina.tv/>
- c 『**仮面ライダーW**』 原作：石ノ森章太郎  
脚本：三条陸、荒川稔久、長谷川圭一、中島かずき  
東映 テレビ朝日、東映、ASATSU-DK 2009/9/6-2010/8/29  
<http://www.tv-asahi.co.jp/double/>
- d 『**宇宙ショーへようこそ**』 監督：舛成孝二  
A-1 pictures 「宇宙ショーへようこそ」製作委員会  
2010/6/26  
<http://www.geass.jp/>
- e 『**侍戦隊シンケンジャー**』 原作：八手三郎  
脚本：小林靖子、大和屋暁、石橋大助  
東映 テレビ朝日、東映、東映エージェンシー 2009/2/15-2010/2/7  
<http://www.tv-asahi.co.jp/shinken/>
- f 『**時をかける少女**』 監督：谷口正晃  
「時をかける少女」製作委員会 2010 2010/3/13  
<http://www.tokikake.jp/>
- g 『**宇宙犬作戦**』 テレビ東京 アットムービー・クリエイティヴ  
アットムービー・クリエイティヴ  
「宇宙犬作戦」製作委員会 2010/7/9-2010/12/24  
<http://www.tv-tokyo.co.jp/uchu-inu/>
- y 棄権  
z その他

## コミック部門

- 記号 作品名 著者 出版社  
レーベル 発行月日 ISBN  
URL
- a 『鋼の錬金術師』 荒川弘 スクウェア・エニックス  
ガンガンコミックス 全27巻 2010/11 978-4757530546 他  
<http://www.square-enix.com/jp/magazine/ganganonline/comic/hagane/index.html>
- b 『惑星のさみだれ』 水上悟志 少年画報社  
ヤングキングコミックス 全10巻 2010/11 978-4785935184 他  
<http://www.shonengahosha.jp/index.php>
- c 『夏のあらし!』 小林尽 スクウェア・エニックス  
ガンガンコミックス JOKER / ガンガンコミックス  
全8巻 2010/10 978-4757530683 他  
<http://www.square-enix.com/jp/magazine/joker/series/arashi/index.html>
- d 『兵器局非常識機関連開発室ヴンダーカンマー』  
西川魯介 徳間書店  
リュウコミックス 全2巻 2010/5 978-4199501784 他  
<http://www.tokuma.jp/comics/ryu-comics/30f330fc30ab30f330de30fc>
- e 『SARU』 五十嵐大介 小学館  
IKKI COMIX 上下巻 2010/10 978-4091885180 他  
<http://natalie.mu/comic/news/27083>
- f 『キック・アス』 マーク・ミラー (著),  
ジョン・ロミータ Jr. (イラスト), 光岡三つ子 (翻訳)  
小学館  
集英社プロダクション ShoPro Books 2010/11  
978-4796870818 他  
<http://books.shopro.co.jp/comic/amecomi/>
- g 『ベントラーベントラー』 野村亮馬 講談社  
アフタヌーンKC 全3巻 2010/5 978-4063106640 他  
<http://kc.kodansha.co.jp/content/top.php/1000004530>
- h 『SF大将特別編 万物理論 [完全版]』 とり・みき  
河出書房新社  
『NOVA3』 (河出文庫) 2010/12 978-4309410555  
<http://www.kawade.co.jp/np/isbn/9784309410555>
- y 棄権  
z その他
- a 『ぼくらが夢見た未来都市』 五十嵐太郎 / 磯達雄  
PHP研究所 PHP新書 2010/6/16 978-4569779577  
<http://www.php.co.jp/books/detail.php?isbn=978-4-569-77957-7>
- b 『サはサイエンスのサ』 鹿野司  
早川書房 2010/1/22 978-4152091048  
<http://www.hayakawa-online.co.jp/product/books/113175.html>
- c 『二十世紀から出てきたところだけれども、なんだか似たような気分』 鏡明  
本の雑誌社 2010/3/15 978-4860112028  
<http://www.webdoku.jp/kanko/page/9784860112028.html>
- d 『東京創元社文庫解説総目録』 高橋良平+東京創元社編集部  
東京創元社 2010/12/18 978-4488495114  
<http://www.tsogen.co.jp/np/isbn/9784488495114>
- e 『SFアニメを科案する! 福江流SFアニメと科学と"美少女"の楽しみ方』  
福江純  
日本評論社 2010/3/5 978-4535786332  
<http://www.nippon.co.jp/book/5251.html>
- f 『科学と神秘的あいだ』 菊池誠  
筑摩書房 2010/3/24 978-4480860729  
<http://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480860729/>
- y 棄権  
z その他

## 自由部門

- 記号 時柄 関係年月日  
関係者 (団体) 推薦理由
- a 探査機「はやぶさ」(第20号科学衛星 MUSES-C)の地球帰還 2010/6/13  
独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 JAXA  
数々のトラブルに見舞われながらも、7年もの時間をかけて任務をこなし、帰還した。「これだけ「絵」になる物語は誰がなんと云おうとSFです!」
- b 小型ソーラー電力セイル実証機「IKAROS (イカロス)」の光子加速確認 2010/7/9  
独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 JAXA  
ソーラーセイルによる惑星間航行の実証
- c 『ロボットと美術～機械×身体のビジュアルイメージ～』  
2010/7/10  
「ロボットと美術」展実行委員会  
青森県立美術館で7月10日より開催、以後、静岡県立美術館、島根県立石見美術館を回る。科学技術と文化芸術との結びつきをロボットを題材にわかりやすく紹介した。
- d SFマガジン創刊50周年記念アンソロジー  
2010/11/25  
早川書房 その企画及び編集に対して
- e 和歌山大学宇宙教育研究所による、「はやぶさ」帰還ライブ中継 2010/6/13  
和歌山大学 宇宙教育研究所  
大手マスコミの取材がない中、探査機「はやぶさ」帰還の唯一のライブ中継であること。
- f iPadの日本発売 2010/5/7  
アップル社 出版物を変える可能性
- y 棄権  
z その他

## アート部門

- 記号 名前 URL
- a 加藤直之 <http://homepage2.nifty.com/NaoKato/h>
- b 大石まさる <http://www2.tbb.t-com.ne.jp/ohishi/index.htm>
- c 中村豪志 <http://www1.wisnet.ne.jp/~daydream/index.html>
- d 岩郷重力
- e 中川悠京 <http://www007.upp.so-net.ne.jp/uk888/>
- f 星野勝之 <http://www.geocities.jp/mbnippon/>
- g 竹岡美穂 <http://www.nezicaplant.com/>
- y 棄権  
z その他

## ノンフィクション部門

- 記号 作品名 著者  
出版社 発行月日 ISBN-13  
URL

## 静岡 SF 大全 第3回：『宇宙細胞』



黒葉雅人 徳間書店 2008年9月30日刊  
第9回日本SF新人賞受賞作

こういうSFが好きだ。

私・宮野にとってSFとはこのようなものだ。

目次からして、大風呂敷である。

「一 あらゆる物語の序章」に始まり「十四 あらゆる物語の終章」に至り、そして、「一 “あらゆる物語の序章”」で終わる。

内容も、目次に恥じない。

「宇宙細胞」は、地球上のあらゆる生物を呑み込んでいく単細胞生物だ。

ヒロイン・舞華は、それが南極の氷の中より解放たれるところから事件にかかわることになる。

地球上の最初の生物は「単細胞生物」だった。細胞分裂は、最初の生殖であると同時に、最初の死だった。死と生殖は同じ現象の別名だ。我々はそこから出発した。

出発といっても、そこを離れたわけではない。そこを起点として四方八方へ、いわば球状に、存在のバリエーションを生じさせていったのが生命の歴史だ。その意味では、むしろ、そこへの完全なる回帰こそが我々の真に求めるところかもしれない。

「宇宙細胞」の正体を巡って、ヒロイン・舞華は報道記者・目黒たちと思弁に満ちたやりとりを交わす。それは、刺激的かつスリリングだ。

目黒がきわめてヒロイックに「大事なのは雌だ。女だ」という言葉と「なぜか、満足しているような笑顔」を残してこの世を去った時に、舞華はわめく。

イカシてるんじゃない——イカレてるんだよ。  
強がる、粹がる、そのくせ情緒的おセンチで夢想屋ロマンチストな男の、自己中心的な美学だ。

ただおまえが、おまえたちが、生きるのに、闘うのに、疲れただけだろう？

わたしたちのためにその身を、命を捨てる？

—中略— ふざけるな。 (269頁)

そして、その50年後、「九 地球最後の女」は、このように始まる。

日本、その国の象徴ともいべき霊峰富士山さん山麓ろくから、蒼い山肌を、片脚を引き摺りながら這うように登る人影があった。 (273頁)

人影は、老婆となった舞華である。

麓から舞華を追って「ぬたりぬたりと、動きは遅いしかし休憩なしで這い登ってくるやつ」がいる。舞華以外のすべての生物を呑み込んだ「宇宙細胞」である。

ナイフを「宇宙細胞」に突き立て、そいつに噛みつきながら舞華は言う。「おまえがわたしの中に侵入はいするんじゃない。わたしが、おまえの中に侵入はいするんだ。わたしがおまえを食ってやる」 (276頁)

こうして、舞華は「宇宙細胞」と一体化する。

その場所は富士山でなければならない。そこは死と生殖が同じところから発したものであることを語った神話と深く結びつく場所だからだ。

死の起源を、日本神話では次のように語る。

山々を総括する神・大山祇神おおやまつみには、二人の娘このはながいて、木花咲耶姫やひめと磐長姫いわながひめである。その二人を妻として与えられた男は、美しい木花咲耶姫だけを相手とした。そのために、人間の寿命は桜の花のように短くなってしまった。もし男が、磐長姫を相手とし

ていれば、魃物のように永遠の生命が得られたのに。  
姉妹は父から譲られた富士山に鎮座する。美しい富士山は、何度も噴火して灰を降らせた山でもある。

細胞と一体化する時点での舞華は、醜い老婆である。若い頃の「猫顔美貌」が木花咲耶姫だとすれば、この舞華は磐長姫である。どちらも「舞華」というひとりの女性の相<sup>すがた</sup>と言える。

(ご年輩の女性の方、ごめんなさい。もちろん、木花咲耶姫だけが価値ある存在というわけではありません。ちなみに宮野は50代の女性です。←…それが何?)

舞華という名は、舞い散る花のイメージから桜と強く結びつく。木花咲耶姫は桜の木を御神体とする神である。また、舞華とは、舞い降る火山灰を思わせる。それは作物を枯らし死をもたらすものだ。

舞華を呑み込んだ「宇宙細胞」は、富士山を包み込む。

そして、変化が起こる。

富士頂上の粘体の一部が、ひっそりと動き出す。細い、細い、 $\mu$  単位の糸状のものを伸ばし出した。擬足と呼ぶにはあまりにも細すぎるものだ。すると天に昇り始めた糸はやがて、風に乗る、上昇気流に合わせてさらに天高くへと舞い上がる。地球が引っ張ろうとする重力に逆らうかのよう、糸の先は藻掻き、蛇行しながら、天を目指す。

宇宙、と呼べる高さにまで到着した。—中略—宇宙空間にまで登り上がると、糸の先に小さな膨らみができ始めた。—中略—膨らみはゆるゆるとのんびりと、だが確実に大きくなっていく。(282頁)

こうして、舞華と一体化した細胞は、静岡の地から宇宙空間へ飛び出していく。

宇宙に出ても話は終わらない。何せ、この細胞は不死なのだから。

宇宙へ飛び出してからの展開も、思弁に満ちてスリリングである。そして「あらゆる物語の終章」がそのまま「あらゆる物語の序章」という大風呂敷が完成する。

こんなふうには、伴走感の得られる作品を読むのは久しぶりだった。

「とても好みます。これぞ、SFの王道だと思います。どうか究めて下さい」という内容のファンレターを作者に書いた。

作者は静岡県にお住まいである。

次のようなお返事をいただいた。

【作者から】『宇宙細胞』は、応募時550枚→改稿時1050枚→書籍化時570枚、という代物。話の進行具合が、ちゃかちゃかしているのは、この話には、人間側都合の話は、要らん、と、そのテのエピソードを、ぼっきり落とし、良くも悪くも(悪いだけ?) 勢いのある文体も、意味が通るぎりぎりまで、景気良く、削り倒してしまった結果です。——ええと、その、今回は、もっと読みやすいものにしよう、と思っております。

「次回」というのは、続篇のことである。実はこの『宇宙細胞』は3部作の真ん中なのである。前篇もあれば続篇もあるのだ。どちらも未発表である。

また、次の作者の言葉は、目黒の最期にあたっての舞華の罵倒の意味をつかみかねていた宮野にとって、非常に納得できるものであった。

【作者から】『宇宙細胞』でのマイカとメグロは、初期構想段階では役割が逆でした。あのような結末が決定した時点で「この話の主人公は、女だよな」となったのです。

だから、「知っているか? 生物学的には、実は雄は必要ないという説を」(198頁)というセリフがその前に置かれているのだろう。

「地球最後の女」とは、舞華のことではなく「宇宙細胞」のことだったのか!

難儀なもの……汝の名は男。

この作品は、そういう視点から読んで面白い。

すべての読者が『宇宙細胞』を真ん中に挟んだ三部作を読むことができる日が来ることを、宮野は今、祈ってやまない。

(宮野由梨香)



# 日本SFファングループ連合会懇親会& コンパック 2011 / ドンプラコンL会場下見合宿 レポート



さる2月5日から6日にかけて、実行委員会では、ファングループ連合会議懇親会を兼ねて、公式合宿『コンパック 2011』の会場となる三保松原の『三保園ホテル』の下見合宿を開催しました。

三保園ホテルは、ドンプラコンL会場から車で30分ほど走った風光明媚な三保松原の近くにある温泉旅館で、300人。

会場のホテルについて、まずは会議です。ホテルの担当の方にも参加していただき、酒類や飲食物の持ち込みについてや、食事やおつまみの提供、宴会場の使用条件などについて話し合いました。

ホテル内はWi-FiやLANのネットワークには対応していません。一部でSoftbank回線が繋がりにくくなることがありました。宅急便の発送はみやげ物などの売店で受付可能で、売店の営業時間は7:00～21:00とのことでした。



全体の打ち合わせが終わった後、全員で館内各所を見せてもらいました。

ホテルは本館と別館『スペイン館』（名前はスペイン館ですがお部屋は和室です）に分かれていて、まるで迷路のよう。本館と別館の間には謎のモニュメントが配置された『スペイン広場』もあります。



ほとんどの部屋が10畳から12畳の和室になっています。テレビはすべて大画面の地デジ対応で、HDMI端子なども装備していて、部屋でのミニパーティなどではプロジェクター代わりとして使えそうです。各部屋にお風呂とトイレ付き、浴衣と歯ブラシとタオルがあります。バスタオルは持ち込んでください。

大浴場は『三保はごろも温泉 天女の湯』と名付けられた天然温泉で、海の近くの温泉らしく塩分。ミネラル分の多いいいお風呂です。深夜12時まで入浴が可能です。

三保園ホテル：<http://www.mihoen.jp/>





◀画像左：朝食会場のテラス

◀画像右：朝食バイキングの一例。メニューは和洋中とかなり豊富でした。

ホテルで一泊し、明るいテラスでバイキングの朝食をいただいた後、スタッフはバスでドンブラコンL会場のグランシップ静岡に移動して、ひきつづき会場下見会が開催されました。



以前レポートした開場下見会と違い、この日はグランシップは営業中でしたので、ほとんどの部屋を見ることはできませんでしたが、一般公開イベントの『静岡デザイン学校 卒業展示会』会場内は見て回ることができました。

左の画像は、グランシップ静岡外観。これまであまりお見せしてこなかった東静岡駅側から見た姿です。こちら側は『自主企画からのお知らせ』で紹介している大ホールにあたります。

この日最大の朗報は、グランシップすぐ横にコンビニエンスストアがオープン準備中だったこと。下見会当日はまだ準備中でしたが、現在す

にオープンしています。

会場周辺にコンビニエンスストアや飲食店が少ないことは、ドンブラコンL開催が決まった頃から実行委員会内では問題になっていたのですが、これで一つは解決しました。また、実行委員会では、ドンブラコンL当日の昼食用に、会場内休憩所でお弁当の販売を行う予定です。

会場周辺の店舗・飲食店については、次号で詳しくお知らせします。



一回りグランシップ内部を見て回った後は、会議室に入って会場の担当者さんを前に会議と質疑応答を行いました。

自主企画開催を考えているたくさんの方から、実際に開催する場合のチェックポイントについて具体的で詳細な質問が飛んでいました。

(都築由浩)



# 「コンパック2011(ドンブラコンL・合宿企画)」のお知らせ

今年の大会に合わせての「合宿企画」の開催が決定しました。

場所は美しい松原と富士山の眺望で知られる三保の松原。

松原の中に佇む風情ある老舗旅館(ホテル)を貸し切って徹夜で宴会を開催する予定。

「参加者全員の思い出に残る合宿企画にしたい」とスタッフ一同頑張ってます。

さあ皆さん、今年の大会の宿泊場所はここで決まり！！

詳細は以下の通りです。



上：三保園ホテル外観

右上：ホテル前にある無料の足湯

右：部屋内部(一例)

お部屋は基本的に和室です。

- 企画名称 コンパック2011(ドンブラコンL・合宿企画)
- 宿泊旅館 三保園ホテル (TEL-054-334-0111)  
静岡県静岡市清水区三保2108番地  
ホテルHP [www.mihoen.jp/](http://www.mihoen.jp/)
- 募集定員 300名 (希望者多数の場合は申込先着順)
- 募集資格 「ドンブラコンL」の参加者であること
- 開催期間 2011年9月3日(土)夕~9月4日(日)朝 (1泊2日)
- アクセス 当日は大会会場とホテルの間でバスを運行する予定です。(現在調整中)  
自動車・バイクでの参加も可能です。(旅館に駐車場完備)
- 食事等 「夕食・なし」 ※ただし、軽食・飲み物等を準備をします  
「夜間・宴会」 酒類&つまミ等を準備をします  
「朝食・あり」 ホテルの朝食バイキング(ブッフェ)付き  
※ ホテル内への飲食物等の持ち込みは自由です。

- 宴会 大広間にて徹夜で宴会を開催（開始午後9時頃、終了時間は未定）  
宴会には酒類、飲類、軽食、甘味、ツマミ類などを準備します。  
宴会への食べ物・飲み物などの差し入れを大歓迎します。
- 参加費用 参加費は参加費の振込日によって変動します。
  - （6月30日（木）までに振り込まれた場合）
    - 大人（中学生以上） 10,000円（税込）
    - 子供（小学生以下） 6,000円（税込）
  - （7月15日（金）までに振り込まれた場合）
    - 大人（中学生以上） 11,000円（税込）
    - 子供（小学生以下） 7,000円（税込）
  - （7月29日（金）までに振り込まれた場合）
    - 大人（中学生以上） 12,000円（税込）
    - 子供（小学生以下） 8,000円（税込）

※振込期限日までに振り込まれない場合はキャンセルさせて頂く場合があります。  
大会当日は参加受付いたしません。
- 申込方法 大会公式HPに「合宿企画申込方法のお知らせ」を掲載しますのでそちらからお申込み下さい。  
大会公式HP（ <http://www.sf50.jp/> ）
- 支払方法 申込した方に個別に「支払手順、支払先の金融機関、等」の支払方法のお知らせをメールします。  
メールを受け取りましたら手順に沿って振込みの手続きをお願いします。  
※振込手数料は参加者側でご負担ください。
- 諸注意 以下の諸注意をお守りください。
  - (1) 寝室は男女別の相部屋となります。  
小学生以下の児童は男女どちらの部屋にも宿泊可です  
【※要注意】全室相部屋になります。  
個室の要望には応えられません。
  - (2) 喫煙は定められた場所でのみ可です。
  - (3) 各宿泊部屋での宴会は自由ですが同室に宿泊するの他の参加者の了解を必ず得てください。
  - (4) 盗難、器物破損、ケガ等について主催者側は責任を負いません。  
参加者各自の自己責任とさせていただきますから御注意下さい。
  - (5) 未成年のみの参加は不可です。（必ず保護者同伴で参加して下さい）
  - (6) 自動車・バイクを使つての参加可能。（旅館に駐車場あり）  
ただし、翌朝に運転する人は夜0時以降の飲酒を禁止します。
  - (7) 合宿企画参加者以外の人を旅館へ連れて来ない下さい。
  - (8) 合宿企画中は参加証を所定の見える位置に常に身に付けてください。
  - (9) 参加者が250名未満の場合はホテルは貸切になりません。
  - (10) 事務局の指定する所定の方法で参加費を支払ってください。
  - (11) 参加費の払い込みをもって、参加申込み完了となります。
  - (12) スタッフの指示に従ってください。

それでは皆様の御参加をお待ち申し上げます。



# 宿泊のご案内

No.	ホテル名		宿泊料金	お部屋タイプ	静岡駅からの時間
①	静岡北ワシントンホテル	①-S	8,160円	シングル	北口徒歩13分
		①-T	7,850円	ツイン	
②	サンパレスホテル	②-S	7,800円	シングル	南口徒歩2分
		②-T	7,000円	ツイン	
③	静鉄ホテルプレジオ	③-S	8,280円	シングル	北口徒歩1分
④	静鉄グランドホテル中島屋	④-S	8,800円	シングル	北口徒歩6分
		④-T	7,000円	ツイン	
⑤	ホテルアソシア静岡	⑤-S	10,315円	シングル	北口徒歩1分
		⑤-T	7,400円	ツイン	
⑥	ホテルセンチュリー静岡	⑥-S	10,500円	シングル	南口徒歩1分
		⑥-T	7,600円	ツイン	

※お部屋に限りがございます。ご希望のホテルがお手配できない場合もありますので、  
宿泊希望は第2希望までご記入下さい。

※静岡のホテルはツインルームが非常に少なくなっております。ご了承下さい。

(④、⑤、⑥がツインルームの多いホテルです)

※お部屋は先着順でのご案内となります。お早めにお申し込み下さい。

※料金は一泊・朝食・税金・サービス料込みのお一人様の宿泊料金です。

※ツインルームは2名様利用時の1名様料金です。

## <お申し込み方法>

静鉄観光サービス(株)のホームページ、メール、FAX、  
郵送にてお申し込みいただけます。

○ホームページからの方は下記urlのページ下のリンク  
集から第50回日本SF大会のお申し込みフォームへ  
お進み下さい。

<http://www.shizutetsukanko.com/>

○メール、FAXの方は、下記の連絡先までお名前  
(グループの場合は全員分)、住所、連絡先、ご希望の  
ホテル、お部屋タイプをお知らせ下さい。

[s-iizuka@shizutetsukanko.com](mailto:s-iizuka@shizutetsukanko.com)

FAX:054-251-6710

○郵送の方は、ご不明の点のお問い合わせは下記まで  
お願いします。

〒420-8509 静岡市葵区追手町2-12

静鉄観光サービス

本社支店 担当:飯塚 TEL:054-251-6415



# プログレスレポート掲載原稿募集

プログレスレポートへの掲載原稿を募集します。自主企画の告知、地方コンベンション等のイベント告知などはもちろんのこと、ディーラーズルームで販売する同人誌の広告や記事中に試用するカットなども、お送りいただければ使用させていただきます。

募集メ切 4号(6月中旬発送予定) : 5月10日(必着)  
5号(8月発送予定・最終号): 6月末日(必着)  
メ切間に到着した場合、次号掲載になることがあります。  
余裕を持ってお送り下さい。



募集原稿 (原稿料は出ません。ご了承下さい)  
イラスト・カット : 表紙イラストから本文中で使用するカットまで、なんでも送っていただければありがたいです。  
自主企画等の事前告知: 事前に募集や告知が必要な自主企画や、ディーラーズルームでの販売物の事前広告など、ご自由にお使いいただけます。  
募集以外の原稿内容でも、下記編集部へのメールアドレスにご連絡いただければ、できるだけ前向きに検討いたします。

## 原稿形式

原稿は、下記の形式でお願いします。前にあるほど推奨の形式です。

文章 : .txt

(1ページ1800字が目安です。半ページでの掲載も可能です)

グレースケール画像 : .psd、.bmp

(使用するサイズで600dpiの解像度が必要です)

カラー画像、写真等 : .psd、.bmp、.jpg

(使用するサイズで350dpiの解像度が必要です)

レイアウト済みの文書 : .pdf、.ai

(IllustratorCS5まで対応できますが.ai形式の場合は単一ファイルであっても圧縮して送っていただいた方が安全です。フォントはアウトライン化した方が安全です。極端に小さな文字を使用するのは控えて下さい)

圧縮ファイル形式 : .zip、.lzh

ファイルサイズが大きくなる場合はファイル急便などのサービスを利用するか、あらかじめ下記メールアドレスまでご連絡下さい。

注意 : .doc、.xls、.ppt、等の形式で原稿を送ってくるのはやめて下さい。

編集部のMacintoshにはMS書体が入っていないので必ずエラーが出ますし、レイアウトが保持されている保証もありません。

word等で原稿作成された場合は、.txt形式で出力し、文書内で使用している画像データと、wordでデザインした画面のスクリーンショット画像などを一緒にお送りいただければ、こちらで出来るかぎり似たようなレイアウトを作成いたします。

編集部連絡先メールアドレス : [tsuduki@osk.3web.ne.jp](mailto:tsuduki@osk.3web.ne.jp)

よろしく願いいたします。

# 自主企画からのお知らせ

## ホビーロボット・コロッセオ

2008年の第48回日本SF大会 DAICON7 で開催された ROBO-HUBinDAICON7 の規模を超え、日本全国で開催されているホビーロボット地域イベントが、静岡の地に大集結！

第50回日本SF大会ドンブラコンL 併催イベント『ホビーロボット コロッセオ』スタート！

ガチンコ格闘競技からプロレス、サッカーまで、全国各地で開催されているホビーロボットイベントが一堂に会する、史上初の企画【ホビーロボット・コロッセオ】。この会場に結集する格闘競技イベントを、北から順に紹介しよう。



バトル系

まず、普段は農家や町工場、鉄道職員など、かりそめの職業に身を隠し、山形県長井市でロボット活動続ける“フラワー戦隊ナガレンジャー”によるナガレンジャーファイティングフェスタ。

ロボットユーザー自身がユーザーのために開催する関東の手作り競技会わんだほーろぼととか〜にばる。

全国規模の格闘競技会で関西勢が活躍するベースとなった、ストイックなほどに強さを求める大阪のロボファイト。

ロボット自身がセンサを使って自律的に動くなど、ひと味違う競技が繰り上げられる姫路ロボハッスル



◀バリエーション豊かなロボットが登場する

近年レベルアップが著しい、九州地区のロボットユーザーを育てたYOKAロボまつり。



トップレベルの戦いの緊張感は人間の格闘技とかわらない



## アスリート&エンターテイメント

これら格闘で勝敗を決する競技会だけではない。今大会には、ロボットたちによるサッカーと、ロボットによるプロレスという、別ジャンルの競技会までが集結している。

地元東海地区に拠点を置くロボサッカーは、コロッセオ会場の広さを活かし、史上最大のコートで開催を予定しているぞ。

ロボットプロレス **できんのか!** は、プロレスならではの“魅せる”大技を連発してくれるはずだ。



▲フォーメーションを組むのは人間同様



▲必殺ムーンサルトプレス!  
ロボットも宙を舞うのだ

▲ロボットだってバックドロップはへそで投げる

現在確定しているだけでこれだけの競技会があるうえ、他の競技会との交渉も成立すれば、さらに盛りだくさんになる可能性もある。ホビーロボットの「現在」が凝縮された空間になることは間違いないだろう。

## 体験操縦会



そして、イベントを見れば、自分でも動かしてみたいのが人情。そんな観戦者のために、ホビーロボットキットの体験操縦コーナーも設けているので、ぜひ来場を!

(文: ロボットライター 梓みきお)

# 実行委員会からのお知らせ

東日本大震災により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

実行委員会は、栃木市の事務所が被災し業務を停止しておりましたが、3月末より業務を再開しております。大会も予定通り開催いたします。

なお、被災された参加者の方で大会への参加が困難な場合につきましては、無条件に払い戻しをいたしますので、実行委員会までご連絡ください。

第50回日本SF大会実行委員会  
実行委員長 池田武

## ■公式サイトミラーサイト開設について

ドンブラコンL公式サイトのサーバーがある栃木事務所が東日本大震災の影響による東京電力の計画停電エリアに含まれており、停電中は公式サイトのサーバーを停止せざるをえなくなっております。このため、急遽ミラーサイトを開設いたしました。公式サイトが繋がらない場合は、ミラーサイトにて情報をご確認ください。

ミラーサイト url : <http://sf50.sakura.ne.jp/>

## ■企画申し込み・ディーラーズルーム申し込みについて

企画申し込みは、前号に掲載の申込用紙の他、公式サイトフォームからお申し込み可能です。

ディーラーズルーム出展申し込みは、地震の影響で遅れておりましたが、このプログレスレポートの到着と前後して、公式サイトから受け付けを開始する予定ですので、もう少々お待ちください。

お申し込み方法は、公式サイトをご確認ください。

<http://www.sf50.jp/>

## ■公式 blog のお知らせ

公式サイト内に公式 blog を開設しました。実行委員長の活動日誌、プログレスレポートでも連載中の『静岡SF大全』のweb版、プログレスレポート編集部日誌などが不定期に連載になっております。blogコーナーにはミラーサイトはありません。ご了承ください。

<http://blog.sf50.jp/>

## 編集後記

東日本大震災と福島第一原発事故による影響はどこまで拡がるのか予断を許さない状況ですが、とりあえず大会は開催されますので、粛々と準備を進めております。

なお、このプログレスレポート3号の原稿は、ほとんどが東日本大震災の前に執筆されたものであることをご理解ください。

都築由浩

### 第50回日本SF大会ドンブラコンL プログレスレポート第3号

発行日	2011年 4月 20日
発行人	池田武
編集者	都築由浩
連絡先	〒328-0075 栃木県栃木市箱森町 25-68 有限会社 T-CNET 内 ドンブラコンL 係 TEL:0282-20-1270 FAX:050-3156-1349 Email : info@sf50.jp <a href="http://www.sf50.jp/">http://www.sf50.jp/</a> 印刷 プリントビズ ( <a href="http://printbiz.jp/">http://printbiz.jp/</a> )